

Victory

NO.9

令和4年12月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

師走。今年も一年が終わろうとします。

今月12日(月)に清水寺住職による恒例の今年の漢字が発表されました。『戦』でした。なるほど、とうなずかずにはいられませんでした。2月末のロシアによるウクライナ侵攻はまもなく10カ月、未だその終焉の気配は感じられず、厳しい冬へと向かいます。

選ばれたこの一文字には、それ以外にもワールドカップサッカー日本代表の快進撃をはじめ、様々な「戦」が含まれているでしょう。自分なりにこの一年を振り返る時間を持てるといいですね。

あなたにとっての今年の一文字は何ですか？



図書館は、「言葉」を集めた空間です。時代を超えて紡ぎだされた言葉たちは、いつでも現在を生きる私たちが必要とするときに寄り添ってくれる心強い知のパートナーです。その豊かな言葉に触れることで、勇気をもらい、励まされ、時に叱咤され、そして温かな気持ちを味わいます。気が付くと、自らが操る言葉の引き出しも増えていることでしょう。

あなたの発した言葉が、誰かの心を温かく包む言葉でありますように。



長期貸出期間のお知らせ

もうすぐ冬休み。この冬もあなたのそばに本のお供を！新着図書盛りだくさん&お楽しみを準備しています！

貸出期間：12月19日(月)～28日(水)

貸出冊数：ひとり10冊(もっと借りたい人は要相談)



貸出期限を過ぎていませんか？

現在、借りている本の返却期限の確認をお願いします。

長期延滞している生徒がいます。この機会に必ず返却しましょう。

該当者には個別にお知らせを配布します。

なお、事情があり返却できなりの場合は、図書館まで相談に来てください。



Christmas gift books for you

今年も実施します。11月25日の店頭購入で図書委員がセレクトした新着本を3冊1セットにして限定30セット『クリスマスギフトブック』として用意します。今回は、中学図書委員もセット作りに参加しています。貸出しは、12月19(月)昼休みからです。

英字新聞でおしゃれに包んで、それぞれに図書委員のメッセージカードをつけて貸出します。メッセージカードには、「本のジャンル、こんな人におすすめ」などが書かれています。カードを頼りに、選んでください。どんな本と出会えるかは借りてからの楽しみ！



応援しています！3年生

高3生のみなさん

大願成就!!!

合格御守準備しました。
限定77お早めに。



毎昼休みになると、片手に参考書・問題集を抱えた3年生の姿が増えてきました。コツコツと、静かに集中する姿はとてもカッコいいなあと思います。自分が進むとする道を、今拓きつつある3年生にささやかですが何かできないかと考え、1,2年図書委員で心を込めて『合格御守』を作りました。知の拠点の合格御守です！

みなさんの姿は、後輩たちの心に刻まれていくと思います。体調管理に気を付けて！応援しています！

図書委員って実は多忙！

お昼休み、図書館の扉を開けると正面でニコリ微笑む！？図書委員と司書をあなたは見るようになります。毎日のカウンター業務はもちろん、図書館の命である「資料」の活性化を図るべく、司書にこき使われながら（そんなつもりはないのですが…）古い資料の廃棄処理を行い、新着があればこれまたみなさんの手元に届けられるように装備もし、配架などもします。そんな日常に加えて、少しでも本を読んでほしい！図書館に足を運んでほしい！という熱い思いを様々な方法でアプローチするのも彼らの重要任務。ということで、このひと月ほどの多忙な図書委員活動を振り返ってみましょう。

初の LHR で『ビブリオバトル』高1生

秋の読書週間の一環として、11/29(火)に各クラスで実施しました。今回は、1年生のみ行いました、(2年生は3学期に実施します)

当日までに、まずは図書委員が実際に体験し、実施する約3週間前の朝読でビブリオバトルの説明および動画配信(過去の全国大会)視聴、本の選定呼びかけを行いました。当日は司会進行を務めました。どのクラスも充実した読書活動となったようです。また、クラスによっては先生も参戦！して、盛り上がっていました。



あるクラスの先生のコメントがビブリオバトルの本質をついていたのが印象深かったです。「本当、面白かったです。そして、本を通して生徒の一面を知れたし、バラエティにとんだいろいろな本と出会うきっかけになりました。いい機会をありがとうございました。」



こちら、図書委員セレクション第2弾です。おすすめでも、ターゲットを「読まない人」「本が苦手な人」に絞り、選んだ本をデジタルサイネージ(渡り廊下、公衆電話の横)で紹介。本の書影と書名・著者名・分類番号、短いコメントをつけています。通りすがりにチェック！

本を読むのが苦手なあなたにこの一冊。



『クリスマスギフトボックス』、『合格御守』ももちろん図書委員のお仕事。

棚からひとつかみ『本のある生活を』

今年最後の本の紹介は、こちらです。贅沢なほど多くの本との出会いが待っている一冊です。著者の言葉にナビゲートされながら、あれもこれも読みたくなること間違いなし。寒い冬のひとときに、おすすめ。



『千年の読書 人生を変える本との出会い』
三砂慶明著(誠文堂新光社 2022) 914ミ
タイトルがすべてを物語っている。書店員である著者の語りを通して織り込まれる、時空を超えた本たちとの出会いは、「私」という人間の思考を静かにけれど強く揺さぶる。プラトンに、エンデ、紫式部が声をかけてくると思いきや村上春樹に中島敦、個人的に好きな星野道夫とウンベルト・エーコとの再会に心躍り、ブレイディみかことハンセン(スマホ脳)、土井善晴…。ご覧の通りそれぞれの分野の作家たちが大集合。そして、表紙のマティスの絵が語りかけてくる。

2022年の本校図書館はいかがだったでしょうか？みなさんにとっての『居場所』であれたら嬉しいです。来年もよろしくお祈りします。良い年を！